

『第 12 回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』

今年で第 12 回を迎える日本写真測量学会関西支部主催の若手技術者・研究者による技術研究発表会は、空間情報の計測・基礎から応用にわたる 19 件のさまざまなテーマで構成されたプログラムとなっています。発表会では、同支部役員による審査によって優れた発表を「優秀研究発表賞」として表彰します。発表会終了後の懇親会にて表彰式を行いますので、どうぞ併せてご参加ください。

日時・場所： 平成 28 年 9 月 16 日（金） 9:20~17:20 常翔学園・大阪センター 301 室

プログラム：

9:20~9:25 開会のあいさつ（日本写真測量学会関西支部 支部長 柳川 重信）

9:25~9:30 趣旨説明（山下 恵）

セッション 1 「都市環境」（司会：間野 耕司）

9:30~9:50 異なる季節の高密度気温観測データとの比較を通じた透水面分布の空間特性の分析
岩田 健太郎（摂南大学大学院）

9:50~10:10 夜間気温の低減効果を対象とした土地利用状況の空間特性について
松田 拓也（摂南大学大学院）

10:10~10:30 差分干渉 SAR 解析を用いた地盤沈下に伴う建造物の抜け上がり検知手法の開発
丸尾 尚之（京都大学大学院）

10:30~10:50 海辺空間の風環境と地域特性
葉狩 義秀（大阪工業大学大学院）

休憩（10分）

セッション 2 「景観分析」（司会：小野 徹）

11:00~11:20 ビッグデータからみる観光行動と緑景観の分析
竹村 唯（大阪工業大学大学院）

11:20~11:40 植生分布の空間特性の観点からの都市構造分析の試み
松田 優花（摂南大学大学院）

11:40~12:00 大阪平野における建築群と山々のスカイライン
岡部 雄基（大阪工業大学大学院）

昼休憩（1時間）

セッション 3 「計測・推定」（司会：熊谷 樹一郎）

13:00~13:20 DInSAR による地盤変動推定精度の向上を目的とした可降水量推定
前田 直也（京都大学大学院）

- 13:20～13:40 GCOM-C/SGLI プロダクトに向けた BRDF モデルを用いた陸域アルベドの推定アルゴリズムの検証
宮垣 亮汰 (京都大学大学院)
- 13:40～14:00 地上 LiDAR データを対象とした欠損に頑健な精密位置合わせ手法の開発
出口 翔理 (京都大学大学院)
- 14:00～14:20 4K 動画像を用いた橋梁の高精度相対変位計測
佐久田康司 ((株) ズームスケープ)
- 14:20～14:40 限定された地形条件下での UAV 測量方法の検証
平原 直晃 (国際航業株式会社)
- 休憩 (10 分)
- セッション 4 「まちづくり①」(司会：須崎 純一)
14:50～15:10 3次元空間を考慮した認知空間の歪みと空間要素
酒井 拓実 (大阪工業大学大学院)
- 15:10～15:30 祭礼による都市空間の変化
渡辺 秀斗 (大阪工業大学大学院)
- 15:30～15:50 GIS を活用した立地適正化計画の都市機能誘導区域の検討
宮本 慧 ((株) パスコ)
- 15:50～16:10 地方自治体における市民参加型 GIS の現状と課題
比嘉 友彰 (国際航業株式会社)
- 休憩 (5 分)
- セッション 5 「まちづくり②」(司会：名草 一成)
16:15～16:35 都市公共空間における中間領域と歩行者行動の関係
矢延 徹也 (大阪工業大学大学院)
- 16:35～16:55 街路環境と歩行者の経路選択特性
伊東 慶彦 (大阪工業大学大学院)
- 16:55～17:15 公共施設等総合管理計画の策定と今後の GIS データ活用方法の検討
滝澤 みちる ((株) パスコ)
- 17:15～17:20 閉会のあいさつ (日本写真測量学会関西支部 副支部長 吉村 充則)
- 17:30～ 優秀発表賞表彰式および懇親会 (於：ラウンジ翔)

※発表者一人あたりの発表時間は 20 分間 (発表：15 分，質疑：5 分) となります。

以上